

## 式 辞

校内の桜が新入生の皆さんの入学を待っていたかのように、まさに、満開となりました。うららかな春光が新入生の皆さんを迎えるかのように注ぐ中、本日、ここに入学式が挙行できますことを皆様方とともに喜びたいと思います。

膳所高校同窓会会長様、膳所高校父母教師の会会長様・副会長様には、ご多忙の中ご臨席いただき、誠にありがとうございます。高い所からではありますが、厚くお礼申し上げます。

ご出席いただきました保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。本校教職員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

そして、ただ今入学を許可しました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。今日から皆さんは、歴史と伝統のある膳所高校の一員として、高校生活の第一歩を踏み出します。

皆さんは今、これから始まる新たな高校生活に対して、希望や期待感を持つとともに、それと同じくらいの不安や緊張感を感じているかもしれません。しかし希望も不安も、新しい場所で新しい生活を始めていくのに必要な気持ちであると思います。これから皆さんには、生涯の友となるであろう仲間や先輩、先生との出会いがあると思います。こうした出会いを大切にして、探究的な学びの機会や、大学との連携事業、生徒主体で取り組む班活動や学園祭、生徒会行事など、ぜひ積極的に参加し、たくさんのごことを学び、楽しく充実した高校生活を送ってほしいと思います。

本校は、明治31年(1898年)に創立された滋賀県第二尋常中学校を起源とし、今年で創立126年を迎える歴史と伝統ある学校です。この間の卒業生は4万人を超え、国内外の第一線でリーダーとして活躍する優れた人材を世に送り出してまいりました。また、伝統的に、文武両道をモットーとし、生徒それぞれが高いレベルの学習活動と班活動に励んできました。

また、国からスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受け、京都大学や滋賀医科大学などとの連携や、探究学習、科学英語などの取組を進めるとともに、県内外の高校とも連携し、AI・人工知能やデータサイエンスなどに関わる課題研究などの取組も進めています。皆さんにもぜひ積極的に参加していただきたいと思います。

さて、本校の校訓は『遵義』と『力行(りょっこう)』です。『遵義』では、「誠実な心で、真理と正義を追求し、人類の未来に貢献しよう」と皆さんに呼びかけ、『力行』では、「自主・自律を尊び、心身を鍛え、高い理想に向かう」ことを皆さんに期待しているのです。この『遵義・力行』に掲げられている気高き精神を胸に、高い志を持って、これまで先輩たちが築かれた輝かしい実績を受け継ぎ、自分の良さをそれぞれに大きく伸ばして、本校の歴史に新たな1ページを加えてください。

これから皆さんには、保護者の方に支えられて「学べるありがたみ」を理解したうえで、皆さんの「学びたいこと」「できるようになりたいこと」「したいこと」を起点として、本校での学びや、学校外の様々な人との出会いやつながりの中で、失敗を恐れず、チャレンジすることを大切にしながら取り組み、学びを深めるとともに、「自分探し」を進め、将来の進路選択につなげてほしいと思います。しかし、この学びは、いわば自分のための学びです。

学ぶことのもう一つの意義は「貢献」できる資質や能力を身に付けるということです。宮島未奈さんの小説『成瀬は信じた道をいく』の中で、小学生の北川みらいが膳所高生がモデルの主人公成瀬あかりに「成瀬さんは将来何になるんですか？」と尋ねる場面で、彼女は「先のことはわからないからなんともいえないが……。何になるかより、何をやるかのほうが大事だと思っている。」と答えます。

私たちは何がしかの集団に属し、互いに助け合いながら生きています。今皆さんが身につけている制服、座っている椅子、毎日口にする食べものなど、そのほとんどが自分以外の人のおかげで成り立っているということに気づきます。世の中の誰かの発明や技術や苦勞など、社会で生きることとは、自分が出来ることを通して世の中に貢献することなのです。自分がこの社会にどのように「貢献」すべきか、そのため、どのような進路に向かうべきか、もう一つの「自分探し」の旅を、この三年間で続けてほしいと考えています。

ともあれ、高校時代は、多感で悩みも大きい時期です。だからこそ、学校行事や班活動、探究的な学びなどを通して多くの体験をし、仲間と共に支え合い、深く考え、たくましく成長して欲しいと願っています。様々な機会を有効に活かし、「夢」を持ち「努力」し「感動」することを繰り返しながら、この学舎で良き師、良き友に出会い、充実した高校生活を送ってほしいと切に願います。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、本日より大切なお子様を本校の生徒としてお預かりすることになりました。私ども教職員一同、全力を傾けてお子様の教育に取り組む所存でございます。ただお子様の成長は、ご家庭の協力があってはじめて実を結ぶものであります。どうか、本校の教育に温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

未来を担う入学生の皆さんの限りない可能性に期待するとともに、お子様が高校生活を通して心身ともにたくましく成長されますことをご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和6年4月8日

滋賀県立膳所高等学校  
校長 嬉野 公人